

## 単元名 和音や低音のはたらき

配当時間 4時間

- 単元の目標 (1) 曲想と音の重なりなど音楽の構造との関わりについて理解するとともに、ハ長調の楽譜を見て歌ったり演奏したりすることができる。
- (2) 低音や和音の響きを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつことができる。
- (3) 和音や低音の働きに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとする。

## 標準的な展開例

05070103\_001

【教材名】茶色の小びん（歌唱 器楽） こきょうの人々（歌唱 器楽）

(P.12～P.17)

【準備等】範唱CD、範奏CD、鍵盤楽器、リコーダー

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1～2 「茶色の小びん」を、主旋律と低音の響きや和音を感じ取りながら演奏する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 範唱、範奏を聴き、学習課題をつかむ。</li> <li>★ 低音のはたらきを感じ取って演そうしよう <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 演奏の順序について理解する。</li> </ul> </li> <li>○ 聴唱法で主旋律を歌う。</li> <li>○ 低音パートを楽器で演奏する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ヘ音記号について理解する。</li> <li>・ 鍵盤楽器（キーボード、鍵盤ハーモニカなど）で低音パートを演奏する。</li> </ul> </li> <li>○ 低音の動きを感じ取りながら「茶色の小びん」を演奏する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主旋律だけ、主旋律と低音の組み合わせで聴き比べをして、響きの違いを感じ取る。</li> </ul> </li> <li>○ 「茶色の小びん」の和音について知る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 和音を繰り返し演奏し、響きを覚える。</li> <li>・ 和音に合わせて旋律を演奏する。</li> <li>・ 旋律の音と楽譜を見比べる。</li> </ul> </li> <li>○ ハ長調の音階、和音について知る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音階と主音について知る。</li> <li>・ 和音について知る。</li> <li>・ 主な和音の響きを聴き比べる。</li> <li>・ IV度の響きにあったポーズを考えて、理由とともに発表する。</li> <li>・ 時間があれば、I度やV度のポーズも考える。</li> </ul> </li> <li>○ 「茶色の小びん」を演奏する。</li> </ul> <p>3～4 「こきょうの人々」を、旋律と和音、旋律と低音、旋律と和音と低音、それぞれの組み合わせで気付いたことを話し合い、演奏の仕方を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習課題をつかむ。</li> <li>★ 和音や低音のはたらきを感じ取って演そうしよう <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 範唱奏を聴き、曲の感じをつかむ。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 範唱、範奏CDを聴きながら体を動かしたり指を鳴らしたりすることで、スウィングのリズムを感じ取らせる。</li> <li>・ 繰り返しについて確認させる。いろいろなパターンを示して練習させるとよい。演奏活動には欠かせない記号なのでしっかり押さえさせる。</li> <li>【新出】繰り返し記号、1 番かっこ、2 番かっこ</li> <li>・ 4 拍子の拍の流れを意識させる。</li> <li>・ 児童の実態に合わせて、主旋律をリコーダーや鍵盤楽器で演奏させてもよい。</li> <li>・ ト音記号とヘ音記号の関係、ヘ音記号の楽譜の読み方を説明する。</li> <li>・ 低音部分のみでも旋律として成り立っていることに気付かせ、流れにのって演奏できるようにさせる。</li> <li>【新出】ヘ音記号</li> <li>・ 主旋律は歌やリコーダーで演奏をさせる。</li> <li>【共通事項】音の重なり</li> <li>・ 低音（ベース）は高音部にある主旋律や和音を支える役割がある。</li> <li>【評】ハ長調の楽譜を見て歌ったり演奏したりする活動を通して「技能」を評価する。</li> <li>・ 循環コード（二つ以上の和音の組み合わせが繰り返されるコード進行）なので、繰り返し演奏することで和音の響きを耳で覚えさせ、そこに旋律を合わせるようにさせる。</li> <li>・ 和音の音が旋律に多用されていることに気付かせる。</li> <li>【共通事項】和音の響き</li> <li>・ 教科書の図や板書を活用し、音階とその上に音を規則的に重ねる和音との関係が分かるようにする。</li> <li>・ 主な和音に教師があらかじめポーズを定め、教師の演奏する和音の響きにに合わせてポーズを取らせてもよい。音の長さに変化を付けると、児童の聴く集中力が高まる。</li> <li>・ 「まなびリンク」の動画を活用してもよい。</li> <li>・ V度は属和音といい、I度に戻りたがる性質の響きであると感じ取らせたい。</li> <li>【共通事項】音階 調</li> <li>・ 旋律と低音だけの演奏だが、和音の響きを意識させる。</li> <li>・ IV度のポーズに正解はないが、I度より開放的な気分を感じ取らせる。</li> <li>【評】和音や低音の働きを感じ取りながら、演奏する活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</li> <li>・ 付点の部分がずれないように声掛けする。</li> <li>・ a-a' -b-a' の旋律のまとまりに気付かせておく。</li> </ul>

・階名唱する。

- 和音と低音を練習する。
  - ・階名唱・運指唱をする。
  - ・キーボードなどを交代で演奏する。
  - ・Ⅰ度、Ⅳ度、Ⅴ度、Ⅴ度Ⅶの和音を確認する。

- 旋律・和音・低音を組み合わせて演奏し、響きを比べる
  - ・旋律と和音
  - ・旋律と低音
  - ・旋律と和音と低音
  - ・気付いたことを伝え合う。

- 「こきょうの人々」をグループで演奏する。
  - ・4～5人のグループに分かれ、その中で各パートの担当を決め、練習する。
  - ・和音のところのリズムを変えて工夫する。

- グループごとに発表する。
  - ・聴き合い、気付いたことを発表し合う。

- 「こきょうの人々」を低音と和音に合わせて歌う。
  - ・和音と低音の役割について確認する。
  - ・全員で歌う。

・段ごとに似た旋律や違う旋律を確認させる。

【共通事項】調

- ・「茶色の小びん」でとったポーズを取るなど和音の響きを確認をする。
- ・和音や低音の進み方が似ている段と、違う段があることを確認し、旋律と比べさせる。

【共通事項】和音の響き 音の重なり

【評】曲想と音の重なりなど音楽の構造とを関わらせながら聴く活動を通して「知識」を評価する。

- ・主旋律が主役になるように意識させる。
- ・各パートの声量のバランスに気を付けるように促す。
- ・簡単なリズムパターン例を示す。

【評】低音や和音の響きを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、曲想にふさわしい表現を工夫する活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。

- ・和音は楽譜通りのシンプルなものにして、音の重なる響きを聴き合うようにする。

【 備 考 】